



オンライン 園内研修



Answer

研修はライブ中継。
録画の「見逃し配信」あり

講義+話し合いで
学びと実践が深まる



A園

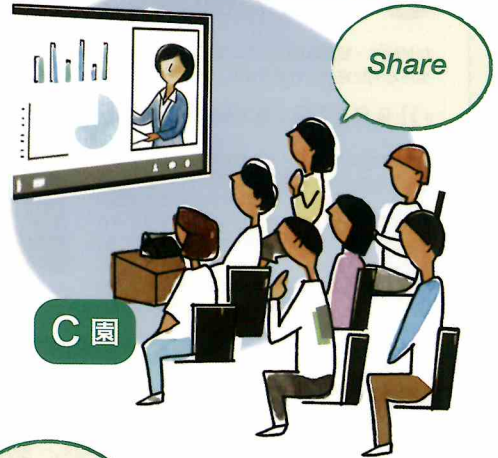
Question

園の職員みんなで
同じ学びを共有できる



B園

Discussion



C園

Share

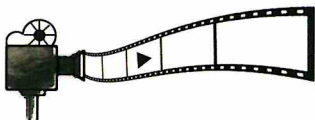
参加費

1講座

22,000円(税込)

※第2回=2回研修33,000円
施設単位でお申し込みください

- ※ オンライン研修に接続できる機器数は3台まで(実施例:職員室1台、ホール1台、図書室1台)
- ※ 研修録画映像の「見逃し配信サービス」があります(ネット配信で1ヶ月、接続数に制限なし)
- ※ 一つの法人や団体でも複数施設で参加の場合は、施設数分のお申し込みが必要です
- ※ お申し込みの施設職員であれば、研修参加、映像視聴の人数に制限はありません
- ※ 事前のご準備…パソコンやZOOMアプリ、接続テストの実施などが必要です



見逃し配信サービス

研修録画を1カ月間ネット配信します。
接続機器数、視聴回数、場所に制限はありません。



スマホやパソコンの
ブラウザで視聴可能

●)) 2022年度 **こどものとも社** がお届けする

オンライン 園内研修

第1回 これから求められる保育の質 ～それぞれの園で高めるために (仮題)

今育つ子どもが迎える未来の社会を見据え、子どもの育ちの本質に立つ保育が求められています。それぞれの保育の場が高めるべき保育の質を学びましょう。

●)) 5月28日(土) 午後1時30分～3時30分 参加費 22,000円



講師：汐見稔幸

東京大学名誉教授・白梅学園大学名誉学長。専門は教育学、教育人間学、保育学、育児学。自身も3人の子どもの育児を経験。持続可能性をキーワードとする保育者のためのエコレッジ「ぐうたら村」村長。著書に「教えから学びへ」「今、もっとも必要なこれからの子ども・子育て支援」など多数。

第2回 発達障害の子どもに対する 保育の考え方と取り組み方 (仮題) (2回研修)

発達障害やそう思われる子どもへの対応について、その考え方やよく示す行動への具体的な対応を、講義編と質問編の2回の研修で学びます。

●)) ① 6月18日(土) 講義編 ●)) ② 7月16日(土) 質問編
発達障害、気になる、グレーゾーンと 参加者から出された質問に対して、
思われる子どもを保育するにあたっての 講師が具体的な対応を提案する
基本的な考え方を学ぶ



午後1時30分～3時30分 参加費 33,000円 (2回研修)

講師：野藤弘幸

作業療法学博士。発達障害の子どもと保護者、そこに関わる保育者、その他の当事者と家族を対象に相談活動と支援者への研修を行う。著書「発達障害の子どもを語り話ませない保育実践：すべての子どもに通じる理解と対応」など。

第3回 環境を通じた教育を学ぶ ～子どもとつくる保育と環境 (仮題)

保育という場では、子どもと保育者の成長のドラマが日々繰り広げられます。ヒト・モノ・コトのロジックの先にある、「育つ」という生氣に満ち満ちた保育を目指します。

●)) 8月27日(土) 午後1時30分～3時30分 参加費 22,000円



講師：佐々木晃

鳴門教育大学附属幼稚園園長。平成元年度より鳴門教育大学附属幼稚園に勤務、平成26年度より附属幼稚園園長。一般社団法人日本保育学会理事、鳴門教育大学大学院教育実践教授など兼任。主な著書に『保育内容 環境【乳幼児 教育・保育 シリーズ】』『0～5歳児の非認知的能力』など。

第4回 いま、絵本と物語の力を学ぶ ～子どもの未来を支える保育者の役割 (仮題)

なぜ絵本・物語なのか、なぜ読み聞かせなのか。子どもたちの生活の実体験を言葉の力、生きる力に結びつけるために、その意味を学び、保育実践につなげます。

●)) 9月17日(土) 午後1時30分～3時30分 参加費 22,000円



講師：脇明子

ノートルダム清心女子大学名誉教授。「岡山子どもの本の会」代表。児童文学作品を数多く翻訳するとともに、「読む力は生きる力」「物語が生きる力を育てる」など、子どもが読書をするの意味や、読書支援の具体的な方法等についての著書多数。



講師：片平朋世

ノートルダム清心女子大学講師。保育園主任を経て、現職。保育者養成、絵本や物語、わらべうた等児童文化に関する授業を担当。「子どもの育ちを支える絵本」など。

第5回 子どもを傷つけるマルトリートメントを学ぶ ～〈とも育て〉社会のために (仮題)

“虐待”などを含む不適切な養育、身近な問題であるマルトリートメントを学びます。子どもと親に最も接する保育者は何ができるのか、共に探しましょう。

●)) 10月15日(土) 午後1時30分～3時30分 参加費 22,000円



講師：友田明美

福井大学子どものこころの発達研究センター教授・同センター長。専門は小児発達学と小児精神学で、マルトリートメント児や発達障がい児の診療と神経生物学的な研究を行う。令和2年度 文部科学大臣表彰 科学技術賞(研究部門)。著書に「親の脳を癒せば子どもの脳は変わる」「実は危ない! その育児が子どもの脳を変形させる」など。

第6回 保育内容をどう展開するか ～発達に沿った活動と教材 (仮題)

担当が変わると歌も絵本もガラリと変わる、そんなことはありませんか。保育者が提供する“文化の質”に焦点をあて、活動や教材選びの基準について考えます。

●)) 11月26日(土) 午後1時30分～3時30分 参加費 22,000円



講師：高山静子

東洋大学教授。保育と子育て支援の現場を経験し、平成20年より保育者養成と研究に専念。教育学博士。研究テーマは、保育者の専門性とその獲得過程。著書に「改訂 保育者の関わり方の理論と実践」「改訂 環境構成の理論と実践」「子育て支援ひだまり通信」など。

第7回 いま、乳児保育に求められるもの ～育児担当制が育てるもの、育むもの (仮題)

幼児期以降に力を発揮するために、乳児保育では信頼と安心の土台である情緒的な絆を育み、個々の発達を応答的に援助することが必要です。具体的な実践を学びます。

●)) 2月4日(土) 午後1時30分～3時30分 参加費 22,000円



講師：西村真実

帝塚山大学准教授。保育士として豊中市立保育所に15年勤務、大阪市立大学大学院修士課程修了後、2005年4月より保育士養成校の教員として勤務。著書に「育児担当制による乳児保育実践編：一人ひとりへの生活・発達・遊びの援助」「育児担当制による乳児保育：子どもの育ちを支える保育実践」など。

ご希望の講座の に を記入してお申し込みください。

お申し込みは **こどものとも社** へ

施設名

担当者名

メールアドレス (お申し込み後、メールにて詳細をご案内いたします)

電話番号